

重要文化財（建造物）二条城二の丸御殿台所及び二の丸御殿御清所耐震調査診断等業務
業務委託仕様書

1 総則

(1) 業務名称

重要文化財（建造物）二条城二の丸御殿台所及び二の丸御殿御清所耐震調査診断等業務

(2) 調査場所

京都市中京区二条通堀川西入二条城町 541

(3) 調査対象

二条城二の丸御殿台所、二条城二の丸御殿御清所（詳細は表 1 参照）

(4) 履行期限

契約日の翌日から令和 9 年 3 月 31 日

2 業務仕様

(1) 業務概要

ア 業務の概要

調査対象を調査（作図、現況調査等）し、耐震性能の判定等（耐震性能の判定、補強計画案作成、補強効果の確認、補強に係る経費の算定等）を行う。

イ 業務主任技術者の資格

本業務の技術上の指揮・監督を司る業務主任技術者（診断者を含む）は、1 級建築士免許を有し、耐震診断・補強に関して深い知識と経験を有する者とする。

ウ 協力事務所等

受託者は、業務の一部を協力事務所等に委託しようとするときは、あらかじめ発注者の承諾を得なければならない。この場合契約書等の規定により再委託してはならない部分は委託できない。

(2) 耐震調査診断等業務

ア 診断基準

診断は、「重要文化財（建造物）耐震診断指針」（平成 11 年文化財保護部長裁定、平成 24 年改正）及び「重要文化財（建造物）耐震基礎診断実施要領」（平成 13 年文化財保護部建造物課長裁定、平成 24 年改正）による。

イ 業務の詳細

(7) 準備 **令和 7 年度**

対象施設の行事予定等を把握し、調査計画書（日程表、業務体制表、予備調査方針、実施調査方針、耐震性能判定等方針（使用するコンピュータソフト名称を含む））を作成し、監督職員に提出のうえ承諾を得る。

(4) 仮設足場 **令和 7 年度**

予備調査・実施調査に必要な仮設足場を整備する。なお、必要な資材等は対象地点までトラック等で搬入可能とする。

(5) 予備調査 **令和 7 年度**

貸与資料（表 2 参照）を点検するとともに、対象建物の現況を把握する。

貸与資料をもとに平面図、立面図、断面図、軸組図、基礎伏図、柱床梁伏図をCADソフトで作図、基礎・柱・壁・梁リストを表計算ソフト等で作成する。貸与資料に情報が無いものについては必要な現地調査を行う。

(I) **実施調査**

調査計画書、診断基準に基づき現地調査を行う。

a 現況調査 令和7年度 令和7年8～9月

図面と建物現状との照合及び構造体に生じている亀裂・変形・老朽化等の構造的欠陥(経年指標)の調査(緊急修繕の必要箇所が発見された場合は、速やかに監督職員に報告する)。また、不同沈下や建物傾斜の確認のため、実測調査を行う。

(II) **耐震性能判定等**

a 診断基準に基づいた耐震性能の判定 令和7年度

任意形状立体フレームの弾塑性解析プログラムを用い、時刻歴応答解析による耐震診断を行う。

※1 等価線形化法に基づく解析方法(限界耐力計算)による確認も併せて行う。

※2 非構造部材の落下についても確認する。

b 診断基準に基づいた補強計画案作成、補強効果の確認 令和8年度

補強工法や補強位置などの計画については、監督職員と十分協議を行い、事前に補強の概要を示す概略図等を作成し、監督職員の承諾を得たうえで補強計画案を作成すること。

耐震補強計画案の作成については、平面図、断面図に補強位置と工法を記入すると共に、補強リスト、耐震補強工事に関する詳細図及び仕様書を作成する。

c 補強に係る経費の概算 令和8年5月

aに基づき補強に係る経費を概算する。

d 補強に係る経費の算定

bに基づき工事積算数量算出書、工事積算数量調書、工事費内訳書を作成する。使用材料については、建設物価、積算資料に掲載されている材料を優先し、引用箇所を内訳書の備考欄に記載すること。なお、見積りが必要となる材料を使用する場合は、見積り提出可能な業者(3社)を参考資料として添付すること。

e 耐震診断計算書

a、bをとりまとめた耐震診断計算書を作成する。

(III) **全体とりまとめ**

業務全体を総括し業務報告書およびその概要版を作成する。

業務報告書はA4サイズとし、ファイル(既製品)は監督職員が指定する。

(IV) **その他の業務**

上記調査に関連するもので、必要と思われるものについては、監督職員の指示により行うものとする。

(3) **書類・成果物の提出**

業務の進捗に応じ次の書類を提出(印刷物・電子データ共)すること。

ア 着手時

- 業務主任技術者通知及び経歴書
- 課税事業者届出書
- 調査計画書

イ 令和7年10月

- 予備調査結果

ウ 令和7年度業務終了時（令和8年3月末）

- 既済部分業務完了届
- 実施調査結果
- 診断基準に基づいた耐震性能の判定結果

エ 令和8年5月

- 補強に係る経費の概算結果

オ 全体業務終了時

- 業務完了届
- 補強に係る経費の算定結果
- 耐震診断計算書
- 業務報告書（診断基準に基づいた補強計画案、補強効果の確認結果を含む）
- 業務報告書概要版
- 打合せ記録

(4) その他特記事項

進捗に応じ、元離宮二条城保存整備委員会建造物部会に専門的な確認を受ける。監督員の指示に従い、進捗状況をまとめた資料を提出するとともに、説明の補助をおこなうこと。

その他詳細は、監督職員の指示による。

表 1 : 調査対象(詳細)

区分	調査対象	
	二条城二之丸御殿台所	二条城二之丸御殿御清所
桁行	正面 : 38.182m、背面 : 29.697m、付底 : 8.485m	15.758m、付底 : 2.955m、附廊下 : 9.909m
梁間	本屋 : 19.697m、出張 : 7.879m、付底 : 1.515m	11.818m、付底 : 2.570m、附廊下 : 5.909m
軒の出	1.967m、付底 : 1.091m	1.561m、付底 : 1.136m、附廊下 : 1.379m
軒高	5.288m、付底 : 3.561m	4.679m、付底 : 4.015m、附廊下 : 4.273m
棟高	本屋 : 13.576m、出張 : 9.515m	10.424m、附廊下 : 7.667m
平面積	本屋 : 584.940 m ² 、出張 : 66.850 m ² 、付底 : 12.856 m ² 、合計 664.646 m ²	本家 : 186.225 m ² 、付底 : 7.593 m ² 、合計 193.818 m ² 、附廊下 : 58.555 m ²
軒面積	910.864 m ²	本家 : 276.248 m ² 、付底 : 9.848 m ² 、合計 286.096 m ² 、附廊下 : 93.613 m ²
屋根面積	1156.970 m ²	本家 : 367.439 m ² 、付底 : 11.306 m ² 、合計 378.744 m ² 、附廊下 : 117.025 m ²

表 2 : 貸与資料一覧

図面種類	調査対象	方向	備考
平面図	台所	-	重要文化財二条城修理工事報告書 第 4 集に掲載の図面 (手書)
	御清所 (附廊下含む)	-	
立面図	台所	東／西／南／北	
	御清所 (附廊下含む)	東／西／南 (北は無し)	
断面図	台所	東西／南北	
	御清所 (附廊下は無し)	東西／南北	